

## 令和5年度事業計画

中期計画					備考	令和5(2023)事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要						
教育改革プロジェクト	①QSP科目群としての授業の提供、または共同開発(期間中に5科目以上) ② 共同FD・SD(短大系含む)の実施(期間中に15回以上) ③ 共同研究の実施(期間中に10件以上) ④ 共同IRによる共通調査等の実施(期間中に5件以上) ⑤ 高大接続事業(共同訪問、共同説明会等)の実施(期間中に5件以上) ⑥ 地元就職支援に係る地元企業との連携事業(期間中に5件以上) ⑦ リカレント教育の講座等の実施(期間中に10件以上)	A. QSP科目群創出WG(責任校):長崎国際大学	A-1	・教材開発、教材データベース	・第1期QSPにおいて構築した教材データベースを発展させ、これからの時代に求められるデジタル人材の育成に資する情報教育や、地方創生に貢献する上で基盤となる地域の学びに関する内容につながる教材の開発と教材データベースの構築を行い、それらが参画校の授業の中で活用される仕組みづくりを目指す。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・これまで構築した教材データベースを発展させ、参画校の中で共同利用できる仕組みづくりの検討を行う。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・参画校の中で共同利用できる仕組みづくりの検討を継続し、利用の促進を図る。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校へ依頼し、開発支援を行い、順次掲載、公開に取り組む。	・参画校の中で共同利用できる仕組みづくりの検討を継続し、利用の促進を図る。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校へ依頼し、開発支援を行い、順次掲載、公開に取り組む。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
			A-2	・単位互換	・各参画校で相互協力・単位互換が求められる授業科目について、ニーズを把握する。また参画校に在籍する学生の多様な学びに対する希望を実現することができるよう、既に佐賀、長崎で構築されている単位互換制度との連携も図りつつ、特に教養教育の分野において各参画校のもつ教育の強み・シーズを拡大活用するためのネットワークを整備し、それらをQSP全体で共有することで、教育の質向上につながる単位互換制度を目指す。 ・「西九州探究」に関連する科目を、各参画校が提供し、相互に利用できるような共通科目群として整備することについて協議・検討する。	・QSPとして多様な学修機会を提供するための単位互換制度の実現を目指し、各参画校と連携した検討を行う。 ・「西九州探究」に関連する科目の創出に取り組み、参画校間での単位互換ができるよう制度の整備を協議・検討する。	・長崎、佐賀両県の既存の単位互換制度の活用策を含めた多様な学修機会を提供するためのQSPとしての取り組みを継続して検討を行う。 ・「西九州探究」に関連する科目の創出に取り組み、多様な科目選択を参画校間で可能にし、単位互換ができるよう制度の拡充、展開を協議・検討する。	・長崎、佐賀両県の既存の単位互換制度の活用策を含めた多様な学修機会を提供するためのQSPとしての取り組みを継続して検討を行う。 ・「西九州探究」に関連する科目の創出に取り組み、多様な科目選択を参画校間で可能にし、単位互換ができるよう制度の拡充、展開を協議・検討する。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
			A-3	・西九州探究(長崎学、佐賀学)	・QSP参画校が所在する九州西部地域における地域の魅力発見を発見したり、地域の課題を知ってその解決に寄与し得る人材の育成のため、多様な分野の横断的学修ができるような授業科目群の創出を目指す。 ・また地域課題を探索するため、地方公共団体や産業界と連携した参画校協働の研究活動の実施を目指し、他WGとも連携した取り組みができる体制を整備する。	・「西九州探究」に関連する科目の創出、導入を目指し、各参画校と連携した検討を行う。 ・地域課題の探索を参画校、関係団体と連携し研究活動の実施に向けた体制の整備について検討を行う。	・「西九州探究」に関連する科目の創出、導入を目指し、各参画校と連携した協議を継続して行い、授業科目の構成、シラバスの検討等を行う。 ・地域課題の探索を参画校、関係団体と連携し研究活動の展開を支援する体制の整備について検討し、取り組みを進める。	・「西九州探究」に関連する科目の創出、導入を目指し、各参画校と連携した協議を継続して行い、授業科目の構成、シラバスの検討等を行う。 ・地域課題の探索を参画校、関係団体と連携し研究活動の展開を支援する体制の整備について検討し、取り組みを進める。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
			A-4	・人材バンク、共同FDSD、人事交流	・第1期QSPにおいて構築した人材バンクで参画校の教職員を登録し、地域の教育活動、地域活動の活性化のための人材派遣など支援を行ってきた実績を踏まえ、地域からの多様なニーズに応えるため、ニーズオリエンテッドな人材バンクの活用拡大を目指し、他のWGとの連携・協働を行う。 ・プラットフォーム事業の趣旨を徹底し、QSP参画校の教職員協働での事業推進を図るための共同FD・SDを計画的に実施する。 ・QSP参画校間および組織間での教職員の人事交流(非常勤講師の派遣を含む)を活発に行っていく。	・人材バンクの登録人材情報更新を行う。 ・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体と連携しながら取り組みを推進する。 ・本年度実施する共同FD・SDのテーマ、内容、実施方法等について検討し実施計画を作成する。	・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを推進する。 ・実施できる共同FD・SDを順次、展開し、本事業の目的の実現に向けた検討を継続する。	・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを推進する。 ・実施できる共同FD・SDを順次、展開し、本事業の目的の実現に向けた検討を継続する。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
			A-5	・共同IR	プラットフォーム事業を推進するに当たり、参画校の教学に関する情報を集約、分析し、各WGが事業計画作成等に活用するための基礎資料作りを行うとともに、活動中に得られた情報を共有・公開する。	・共同IRのデータ更新のための調査を参画校で行う。	・共同IRのデータの集計、更新の作業を行う。	・更新データを取りまとめ、公開及びQSP参画校内で情報共有する。	・共同IRデータの活用について検討する。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
		B. 人材育成・高大連携WG(責任校):鎮西学院大学	B-1	・「地域創生支援リーダー育成入試」	QSP構成大学・短期大学が参画できる事業へと見直しを図る。 WGのもと、以下のプロジェクトチームを編成し、事業の見直し・継続の是非を検討。必要に応じWG全体会議を年3回程度、各PTを4回程度実施。進捗管理・自己評価を行う。 ・域内進学促進PT: 構成大学・短大の入試募集担当者で編成。「地方創生支援リーダー育成入試」の継続を含め、共同入試制度の運営、学生募集活動、高大連携事業について検討 ・地方創成人材育成PT: 構成大学・短大の就職・キャリア支援担当者、自治体、産業界で編成。就職試験対策講座、合同企業説明会等の企画運営。 ・リケジョ事業PT: 西九州大学、佐賀大学、佐世保高専、長崎国際大学により編成。「リケジョプロジェクト」を企画運営。女子中高生の理系進路選択支援プログラムの(JST採択事業)推進。	WG全体会議第1回: 第I期事業振り返り・第II期方向性確認		WG全体会議第2回: 進捗状況把握	WG全体会議第3回: 事業振り返り・次年度事業計画取りまとめ	
			B-2	・合同グループ面接講座		・域内進学促進PT第1回: 共同入試・募集活動の実施検討	・域内進学促進PT第2回: 高大連携事業の企画・運営・振り返り	・域内進学促進PT第3回: 高大連携事業の企画・運営・振り返り	・域内進学促進PT第4回: 事業振り返り・次年度事業計画策定	
			B-3	・合同企業説明会		・地方創成人材育成PT第1回: 地域人材ニーズの把握・協働プログラム企画	・地方創成人材育成PT第2回: 協働プログラム進捗報告	・地方創成人材育成PT第3回: 協働プログラム進捗報告	・地方創成人材育成PT第4回: 事業振り返り・次年度事業計画策定	
			B-4	・リケジョ事業		・リケジョ事業PT第1回	・リケジョ事業PT第2回	・リケジョ事業PT第3回	・リケジョ事業PT第4回	

## 令和5年度事業計画

中期計画					備考	令和5(2023)事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要							
		C. リカレントWG (責任校):九州龍谷短期大学	C-1	・リカレント	・各大学主催のリカレントに関する講座の取りまとめと広報活動 ・研究報告書の継続 ・子ども発達支援士養成卒後・現職プログラム	リカレント講座×3	リカレント講座×3 子ども発達支援士養成卒後・現職プログラム実施	リカレント講座×3 子ども発達支援士養成卒後・現職プログラム実施	リカレント講座×3 実施		
			C-2	・ICT教育	・実用ドローン関連講座	講座開催		講座開催			
			C-3	・データサイエンス教育	加盟各校のデータサイエンス教育への取り組み状況の調査と「数理I・データサイエンス・AI教育」実施校としての認定を目指す。	加盟校の状況調査	各校担当者の勉強会	関連するFDの共同開催	認定に向けた準備		
		D. 短大系WG (責任校):佐賀女子短期大学	D-1	・キャリア教育(短大フェス)							
			D-2	・短大共同IR							
			D-3	・広報							
SDGs推進プロジェクト	⑧ 共同公開講座の実施(年5件以上) ⑨ 健康増進事業の実施(期間中に10件以上) ⑩ 自治体、地場産業、地場企業からの課題解決にかかる受託事業等(期間中に5件以上) ⑪ 自治体、地場産業、地場企業とのWGの組成(期間中に5件以上) ⑫ 施設・設備の共同利用による取組の実施(期間中に10件以上) ⑬ 初中等教育関連教材の開発(期間中に4本以上) ⑭ 初中等教育関連支援活動の実施(期間中に10件以上)	E. 健康・福祉推進WG (責任校):西九州大学	E-1	・ウォーキングで健康イノベーション	「ウォーキングで健康イノベーション」事業概要、事業計画名のもと、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の開催 ・佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク」(仮称)の開催	SDGs推進プロジェクト連携校との「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の開催に関するコンセンサスをとる	Covid19蔓延状況や国の方針と照らし合わせながら、「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の開催に伴う関連講座の開催の有無を連携校と検討する	連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の開催準備および開催(12月予定)	連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の成果のまとめと次年度に向けた計画作成		
			E-2	・福祉教育フェスティバル	九州西部地区福祉教育推進事業「2023 福祉教育フェスティバル」 ・2022年度の既存計画を連携事業として開催。事業推進のコアとなる組織の広域化を推進する。佐賀・長崎と連動した具体的また効率的な連携事業企画としてブラッシュアップする。	●第1回福祉教育研究会事務局企画案について キャッチコピーなど ●第2回福祉教育研究会講演・協議案について	●第3回福祉教育研究会福祉系高校の発表校の推薦と要項・チラシ発送 ●第4回福祉教育研究会後援・発表校・講演者原稿のチェックについて	●第5回福祉教育研究会会場の係員案について ●第6回福祉教育研究会表彰者、登壇者の詰めと運営について ●11/25(土)当日※前日設営	●第7回福祉教育研究会反省会		
		F. 地域産業振興WG (責任校):長崎総合科学大学	F-1	・観光・まちづくり事業	地域の観光・まちづくりに関するコンテストやセミナーを開催する。修学旅行向けの研修素材を検討する。	コンテスト・セミナー準備、修学旅行の需要調査	コンテスト募集と1次審査、セミナー開催、研修素材検討	コンテスト2次審査、セミナー成果報告、研修素材の提案	コンテスト成果発表、研修素材提案の見直し		
			F-2	・地場産業振興(窯業他)	波佐見地区の産業振興を支援する。地元企業・団体と連携して、課題解決型事業を展開する。	地域の課題聴取と解決策の検討	現地情報収集と改善案の提案	第1段階の実施と評価	第2段階へ向けた改善策の検討		
			F-3	・創業支援	長崎市内大学ビジネスプランコンテストを開催する。長崎県ビジネスプランコンテストの予選も兼ねる。	コンテスト・セミナー準備	コンテスト実施	長崎県コンテストへの参加	九州コンテストへの参加		
			F-4	小中学生向け体験教室	ものづくりやプログラミングの体験兼教室を開催する。	体験教室の準備	体験教室への参加者募集と実施	体験教室の評価	次年度に向けた改善点の検討		
		G. 子ども育成WG (責任校):長崎短期大学	G-1	・共同研究「幼児教育等家庭支援」	・共同研究「幼児教育・保育現場における家庭支援に関する研究」	⇒昨年度の調査結果の検討と今後の方向性について参画校と検討を行う					
			G-2	・子ども発達支援士養成プログラム	・子ども発達支援士養成プログラム	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修) ➢研修日程の決定 ➢R5年度生募集	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修) ➢研修実施(8月～) ・リカレント教育について専門委員会・WGとの情報共有を図る。(7月～2月)	・リカレント教育について専門委員会・WGとの情報共有を図る。(7月～2月)	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修) ➢報告&次年度方針協議		
			G-3	・子ども育成フォーラム	・第4回子ども育成フォーラムの開催 共同公開講座開催に向けた調査の実施。	・第4回子ども育成フォーラムの開催 プロジェクト立ち上げ(4月) ・共同公開講座開催に向けた調査の実施(5月～2月)	・第4回子ども育成フォーラムの開催 ➢開催&アンケート実施(9月)	・第4回子ども育成フォーラムの開催 ➢アンケート結果整理及びフィードバック	・第4回子ども育成フォーラムの開催 ➢次年度方針の教義		

## 令和5年度事業計画

中期計画				備考	令和5(2023)事業計画	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.							事業の概要	
国際交流プロジェクト	⑩留学生支援事業の実施(期間中に5件以上) ⑪留学生交流事業の実施(期間中に5件以上)	H. 留学生支援WG(責任校):長崎外国語大学	H-1	【留学生受入れ支援】 A: 共同学生募集 ・共同多言語パンフを作成しHPに掲載 ・海外共同学生募集活動の展開(現地日本語教育機関等) ・在学生・卒業生サポーターによる各大学等のPR発信(サポーターに報酬支弁) B: 域内進学促進 ・域内進学時転居費用一部助成	1 計画案の精査(WG) 2 実施案の検討(WG) 3 試行的実施	意見聴取(佐賀県、長崎県)	意見聴取を受けての計画案の精査	Aの試行的実施(Bは継続検討)	Aの試行的実施(Bは継続検討)		
			H-2	【日本語教育支援】 A: 日本語教育ピアサポーターの育成(サポーター育成講座の実施とQSP大学等間横断的派遣制度構築、サポーターに報酬支弁) B: 日本語教育リソース共同開発 ・当該リソースの単位互換科目化 ・社会へのフィードバック(MOOC)	1 計画案の精査(WG) 2 配分予算に係る協議(QSP) 3 実施案の検討(WG) (4 試行的実施)	計画案の精査 配分予算協議	計画案の精査 実施案の検討	(試行的実施)	(試行的実施)		
			H-3	【国内キャリア形成支援】 A: 佐賀県・長崎県内企業とQSP内留学生とのマッチング促進 ・留学生スカウトイベント ・卒業生による企業PR発信(QSP外の大学等への展開も検討) B: 佐賀県・長崎県内企業卒業生の定着促進支援(定着阻害要因の分析、課題解決のための共同講座等の実施)	1 本事業への行政・経済団体の参画に向けた合意形成 2 計画案の精査(WG) 3 実施案の検討(WG) (4 試行的実施)	意見聴取(佐賀県、佐賀県商工会議所連合会、長崎県、長崎経済同友会)	意見聴取を受けての計画案の精査	実施案の検討	(試行的実施)		
			H-4	【国外キャリア形成支援】 A: QSP大学・短大の学修歴証明の国際通用性担保(デジタル証明発行システム導入と事務共同化) B: 母国内同窓会の組成(卒業後紐帯維持、佐賀県・長崎県の魅力発信の担い手、上記C-1「サポーター」への循環も)	1 計画案の精査(WG) 2 配分予算に係る協議(QSP) 3 Aのシステム化に向けた検討(WG) (4 試行的導入と運用)  ※Bについては計画案精査まで。実際の組成は中計2~3年目以降で検討	計画案の精査 配分予算協議	計画案の精査 システム化の検討	システム化の検討	(試行的導入)		
		I. 留学生交流WG(責任校):西九州大学短期大学部	I-1	・ACC(アジアンコミュニティカフェ)	1 本事業実施に向けた合意形成 2 配分予算に係る協議 3 企画書提出 4 企画の実施 5 報告書の提出 6 次年度に向けた企画提案 7 「QSP異文化理解教室:小学生と留学生との交流」の継続実施(唐津市、佐世保市)	・本事業実施に向けた合意形成 ・配分予算に係る協議 ・異文化交流教室の実施校の決定と日程調整 ・異文化交流教室資料等の検討 ・異文化交流教室アンケート作成完了	・企画書提出 ・企画の実施 ・異文化交流教室の実施準備 ・異文化交流教室資料等の作成 ・異文化交流教室アンケート作成完了	・企画の実施 ・異文化交流教室の実施 ・異文化交流に係る各大学、短大からの参加留学生の確認 ・異文化交流教室アンケートの実施	・各実践のまとめ ・活動報告作成、次年度の方針報告書の提出 ・異文化交流教室に係る報告書の作成(実践校合同) ・各実践にかかるアンケートの集計と検証		
			I-2	・異文化理解教室							
			I-3	・英語イメージンデイキャンプ							
			I-4	・佐賀国際フェスタ							
		中期計画策定・点検評価委員会	①各プロジェクト及びワーキンググループにおける指標達成の管理と評価を行う。 ②中期計画全体の進捗管理と評価(各年度に実施、中間評価を3年目に実施し、最終評価は最終年度に実施する)	中期計画の策定	J-1	中期計画を取りまとめる	令和4年度事業推進協議会等で協議、策定。第2期計画をスタートさせ、第3期視野に入れながら適宜修正を図る。	事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
				中期計画の進捗管理	J-2	中期計画に記載した各事業について、ワーキンググループと連携して、進捗状況を把握・管理する。	第2期中期計画初年度の進捗、目標管理を行う。	事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
中間報告書の作成	J-3			中間外部評価を受けるための中間点検評価報告書を取りまとめる。	中間報告書作成に備え、初年度実績を取りまとめる。	第1期最終報告書(17-22年度)作成	中間報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左		
最終報告書の作成	J-4			最終外部評価を受けるための最終点検評価報告書を取りまとめる。	最終報告書作成に備え、初年度実績を取りまとめる。	第1期最終報告書(17-22年度)作成	最終報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左		
外部評価の実施	J-5			外部評価の企画・準備・対応を行う。	外部評価を受けるため、各WGの自己評価を取りまとめる。	外部評価委員会の開催準備	外部評価委員会開催	外部評価委員には会議資料等適宜進捗を報告	同左		
中期計画の改定	J-6			事業の進捗により中期計画の修正が必要になった場合に、改定作業を行う。	第2期中期計画の事業進捗、参画機関の動きに合わせ、適宜協議のうえ改定する。	同左	同左	同左	同左		
次期計画の検討	J-7			本中期計画の終了後の事業の継続・発展のための次期計画について検討を行う。	各年度の事業実績について、課題を確認しながら次期中期計画策定に備えていく。	同左	同左	同左	同左		
プラットフォーム事業全体				新たにスタートする第2期中期計画の体制定着を図りながら、令和5年度事業を実施する。	会計監査(龍谷、鎮西)繰越金返金14校 会費100万円/私立校、WGへ再委託	外部評価委員会開催 令和5年度改革総合支援事業申請準備	令和5年度改革総合支援事業申請	令和5年度自己評価、令和6年度事業計画、予算策定			